

## 酸化チタン 国内価格改定の件

当社は、主原料であるチタン鉱石の未曾有の価格高騰により、近年、大幅な製造コストアップを余儀なくされており、最近では2012年5月に+25円/kg(7月1日納入分より)の価格改定を発表致しましたが、残念ながら実施には至っておりません。

鉱石価格はその後、一時の異常なまでの騰勢からは落ち着きを見せているものの、高騰前の価格レベルに比較すると依然として高止まりしており、下落の気配は伺えない状態となっております。加えて当社におきましては、今年度も最高値時に調達を行なった鉱石を使用しており、依然採算面で極めて厳しい状況が続いております。

当社は昨年、無機化学事業改革の一環として、東南アジアでの生産拠点であったISKシンガポール社を已む無く閉鎖し、タイペークの生産と経営資源を四日市工場に集中する決断を致しました。

今後も無機化学事業を持続的に発展させるために、一層の自助努力とコストダウンは当然のことながら実施して参りますが、安心・安全を担保した正常な生産活動を行い、需要家様へ安定的に高品質の製品の供給を継続するには、コストアップ分の製品への価格転嫁は必須の状況となっており、下記の通り価格改定を実施することと致しました。

(記)

- |          |                |
|----------|----------------|
| 1. 価格改定幅 | 30円/kg         |
| 2. 実施時期  | 2014年8月1日納入分より |

以上